

タイのPC/LT用タイヤ工場、第3次拡張へ

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイ（社長：水本康博）の乗用車・ライトトラック（PC/LT）用タイヤ工場の年間生産能力を第3次拡張によって140万本増強し、400万本まで引き上げる。2011年4月からの生産開始を予定しており、投資金額は97億円。

ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイは、2004年1月にラヨン県に設立したタイヤ生産販売会社。工場敷地面積は42万平方メートルと横浜ゴムグループのタイヤ工場中最大で、すでに2005年4月からトラック・バス用タイヤ、2006年11月からPC/LT用タイヤの生産を行っている。

PC/LT用タイヤ工場は当初年間生産能力140万本でスタートし、2007年3月に策定した第2次拡張によって2009年度中に260万本まで引き上げる計画だった。しかし2008年秋のリーマンショックにより一時中断を余儀なくされ、第2次拡張の完了を2011年4月に延期している。2010年3月現在、同工場の年間生産能力は190万本。



パース図右側建屋が第3次拡張後のPC/LTタイヤ工場

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部 担当：石塚

TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570